

A taste of Wisconsin



ANDREW | ABROAD |

アンドリュー アブロード

アメリカ、ウィスコンシン州出身の国際交流員
アンドリューが見た日本、笠間市。

| Vol.4 |

Wisconsin Food!

文 | アンドリュー アイガル
問い合わせ | 市民活動課 (内線 133)



「和食」

「和食」と聞いて、外国人でもすぐに思い浮かぶものと言えば、そば、うどんをはじめ、お餅やお味噌汁、茨城の特産品である納豆などが挙げられます。その中でも最も多くの方が思い浮かべるのはお寿司ではないでしょうか。笠間市で考えてみると、いなり寿司を思い浮かべる方もかもしれません。しかし「アメリカ料理」と聞いて、みなさんが思いつく料理は、実はアメリカ由来の食べ物ではないものがあります。例えば、ハンバーガーやピザは、元々海外からアメリカに持ち込まれました。中華料理からラーメン、インド料理からカレーが日本でアレンジされたように、ハンバーガーはドイツ料理、ピザはイタリア料理からアメリカ風にアレンジされたものです。しかしながら、このような輸入された食べ物アメリカ料理として、いつの間にか世界中に広まりました。今回は、私の地元ウィスコンシン州を代表する「Bratwurst (ブラートヴルスト)」という料理を紹介します。

ブラートヴルストは、元々ドイツ料理でソーセージの二種であり、アメリカではホットドッグのような形で食べます。ウィスコンシン州の文化遺産などはドイツから大きく影響を受けたことから、ブラー



トヴルストも受け継がれ、現在でも州内のバーベキューで定番です。外でグリルで焼き、パンで挟み、冷たい地ビールと一緒に楽しむことが最高に美味しい食べ方です。さらに、ブラートヴルストをビールで煮てから焼く作り方があり、これはウィスコンシン州の特徴です！
毎年5月に、州都であるマディソンで行われる「ブラートフェス」と呼ばれる大きな祭りがあります。

「ブラートフェス」は「戦没将兵追悼記念日 (Memorial Day)」前の週末に開催され、ブラートヴルストを食べながらライブを観たり、ゲームで遊んだりします。「世界で一番大きいブラートフェス」として有名であり、昨年のフェスで販売されたブラートヴルストは、3日間で、なんと14万本を突破しました。私は家族や友達と一緒に何回も行ったことがあり、楽しい時間を過ごしました。ブラートヴルストはドイツ料理でありながら、今ではウィスコンシン州を代表する食べ物の一つになりました。ウィスコンシン州を知っていただきたいので、機会があれば是非食べてみてはいかがでしょうか。

Let's visit Wisconsin!

Andrew アンドリュー